学校番号	3037

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	地理Ｂ　（東京書籍）　詳解現代地図帳（二宮書店）						
副教材等	新詳地理資料　COMPLETE　2022（帝国書院） データブック　オブ･ザ･ワールド 2023（二宮書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習はプリントを中心に行う
・教科書、資料集、地図帳に加え、ICT 機器も活用し、既存の学問知と現代世界の情報を結びつける中で世界への理解を深める。

2　学習の到達目標

・多様な地図や統計を読み解きなど、地理の表現作法を身につける。
・地理的な技能を身につけ、自分の生活する地域や社会への理解を深める。
・世界を俯瞰することにより、現代世界の課題を認識するとともに、わが国の置かれている現状への理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、国際関係の発展と国際社会とその課題に積極的に関与する姿勢。	現代世界の地理的な事象を系統地理的な考察し、また歴史的社会的背景から地誌に考察する。その上で、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりする。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	定期考査 ワークシート	定期考査	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	さまざまな地図と地理的技能	・球体としての地図 ・地理情報と地図 ・地理情報を地図化する	○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:地理情報と地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b: 地理情報と地図について、現代を含む各時代の人々の世界観や地図の有用性を多面的に考察する。 c: 地図と地域調査に関連する諸資料を収集・活用し、適切に選択した序湯法を基に、図表などにまとめたりしている。 d: 世界地図の利用について、適切な利用方法を理解している。地理情報の地図化について理解し、知識を身につけている。	ワークシート グループ作業
	自然環境	・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然環境 ・世界の環境問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a：世界の自然環境に関する地域性や規則性、それらの形成要因に関する関心と課題意識を高めたか。 b：世界の自然環境の分布やその形成要因に着目し、系統地理的に考察し、それらと人間生活とのかかわりについて考察したか。 c：世界の自然環境に関する分布図や統計資料を活用し、分布の特色について分析する技能を身につける。地形図の読図技能を身につける。 d： 世界の自然環境の空間的な規則性、傾向性、それらの形成要因を系統地理的方法で捉える視点や方法を身につける。	定期考査 グループ作業

二学期	産業と資源	・産業の発展と産業地域 ・農林水産業 ・食料問題 ・エネルギーと鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・工業の立地と工業地域の変容 ・第三次産業と交通・通信 ・消費と観光 ・貿易と経済機構	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：世界の資源と産業に関する地域性・規則性、それらに関する形成要因に関する関心と課題意識を高めたか。 b：世界の資源、産業について分布や動向などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：世界の資源と産業に関する分布図や統計資料を分析し、活用する技能を身につける。 d：世界の資源と産業の分布や動向について、世界的視野からみた地域性や形成要因を理解する。	定期考査 グループ作業 ワークシート
二学期	人口、村落・都市	・人口 ・人口問題 ・都市・村落 ・居住・都市問題	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:世界の人口と村落・都市の分布や形成や動向、および居住・都市問題を積極的に理解しようとしたか。 b:世界の人口と村落・都市に関する分布や形成要因について、系統地理的に考察する。現代世界の人口や年齢構成の不均衡など、都市化の進展等から生起する問題の傾向について考察する。 c:人口と村落・都市に関する分布図や統計資料を分析・活用する技能を身につける。 d:現代世界の人口と村落・都市の分布や動向を分析・考察する過程で、それらを系統地理的方法で捉える視点や方法を身につける。	定期考査 実力考査 グループ作業

二学期	生活文化、民族・宗教	・生活文化 ・民族・言語・宗教 ・民族問題 ・現代の国家と領土問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:現代世界の生活文化と民族・宗教に関する問題を、積極的に理解しようとしたか。 b:現代世界の生活文化や民族・宗教に関する分布やその要因、動向に着目し、系統地理的に考察する視点を設定して、それらの分布や民族と国家の関係について考察する。 c:統計資料や写真などを活用し、世界の生活文化と民族・宗教に関する分布や動向を考察する技能を身につける。 d:現代世界の生活文化、民族・宗教の地域性や形成要因を理解する。日本の領土問題について理解を深める。	定期考査 グループ作業 ワークシート
三学期	現代世界の地誌的考察	・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・アフリカ ・ヨーロッパとロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア ・現代世界と日本	○	○	○	○	a：世界の諸地域における地域的特色や地球的課題に関する関心と課題意識を高めたか。 b：対照的あるいは類似的な複数の地域を地誌的に考察する。 c：地図や統計、年間、白書、写真などのさまざまな資料から的確に地理的事象を読み取り、その変容を考察する技能を身につける。 d：世界の諸地域の歴史的・社会的背景を踏まえ、多面的・多角的に地域の変容や構造を理解する。	定期考査 実力考査 グループ作業

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。